



## ガスからどうして火が出るの

### ガスが燃えるときは、燃える温度と酸素が必要

ガスが火を出して燃えるのは、ガスが燃える物からできているからです。家庭にきているガスは、水素や一酸化炭素、メタンなどのガスです。

物が燃え始めるには、その物が燃えるのに必要な温度になっていないと、物は燃えません。物が燃え始める温度は、物によって決まっています。それで、ガスを燃やすときに、火をつけてガスの温度を高くします。

酸素がないと、ガスは燃えることができません。空気中には、約5分の1の酸素がふくまれているので、ガスが燃えるには空気が必要です。

### 空気がじゅうぶんだとよく燃える

空気がじゅうぶんにあるときは、ガスは完全に燃えて、青色のほのおになります。しかし、空気の量が少なく、ガスが完全に燃えていないときは、赤い色のほのおになっています。青色のほのおの温度は、赤い色のほのおよりも、温度が高くなっています。

### 燃えないガス

ガスにはいろいろな種類があって、燃えない物もあります。二酸化炭素やちっ素などは燃えません。また、酸素は、物を燃やすためにはたらきをしていますが、酸素そのものは燃えません。（監修・小川 格）

